



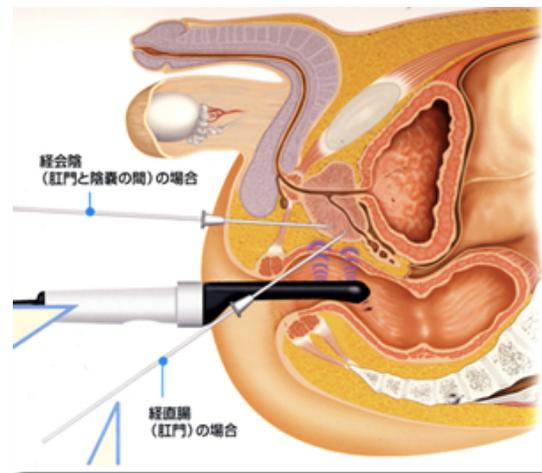
東京女子医科大学腎臓病総合センター泌尿器科

Tokyo Women's Medical University  
DEPARTMENT  
OF UROLOGY

## 前立腺多箇所生検を受ける患者さんへの説明文書

■今回、検査で異常(PSA高値、画像上の異常、触診での異常、その他)がみられ、前立腺癌が疑われる状況です。そのため、前立腺に針を刺して組織を採取し病理組織学的検査を行う生検検査が必要と考えられます。

■外来で10～14カ所程度組織を採取する経直腸的生検も可能ですが、あなたの場合、(画像上採取しにくい部位に癌が疑われる、2回目以降の生検検査である、合併症が多い、血液をさらさらにする薬剤を内服している、その他)などの理由によりきちんと麻酔をかけて多数箇所生検を行うことが望ましいと考えられます。



■検査は入院のうえ、全身麻酔もしくは下半身麻酔下に処置を行います。

■まず肛門より親指と同程度の太さの超音波の機械を挿入し、前立腺をよく観察します。

■その後、超音波の機械に器具を装着して、会陰部(陰茎の付け根と肛門の間)より針を刺入して前立腺の組織を採取します。概ね20～30カ所採取しますが、最終的な生検本数および箇所は超音波検査の所見により決定します。

■針の刺入部位を圧迫止血した後、おしっこの管(尿道カテーテル)を挿入して終了します。

■検査当日はベッド上で安静になります。

■翌日、尿道カテーテルを抜去し、ご自身での排尿が問題無ければ退院となります。

■検査結果は約1～2週間後に外来でご説明します。

**【考えられる合併症】**

■出血: 前立腺は尿道を取り囲むように存在するため、生検後に血尿が見られることが有ります。多くは水分を十分取っていただくことで1~2週間で改善します。血性が強い場合や血塊(血のり)のようなものが混じり尿が出にくいと感じるときはご連絡ください。その他、精液や便に血液が混じることも有りますが、多くは自然に改善します。

■感染: 針を刺した会陰部や、前立腺に細菌が混入し感染を起こす事が有ります。退院後数日~1週間程度は激しい運動や過度の飲酒は控えてください。入浴は問題有りません。もし38度を超える発熱を認めた場合は様子をみないで至急ご連絡ください。

不明な点がありましたら、主治医、担当医にお尋ねいただくか、泌尿器科外来までお知らせ下さい。

**Tel.03-3353-8111(代表)**

前立腺多箇所生検を受ける患者さんへの説明文書

東京女子医科大学泌尿器科学教室

Department of urology, Tokyo women's Medical University.

以上の点について説明を受け、よく理解し、検査に同意します。

平成 年 月 日 患者氏名

患者家族氏名

1)

2)

3)

4)

その他、特に説明した内容

a)

-

b)

-

以上の点について、患者、患者家族に十分説明しました。

説明医